

バス車内事故防止についてのお願い

平素は、バスの安全運行・定時運行にご協力いただき誠にありがとうございます。

ただいま、走行中のバス車内での転倒事故等を防止するため、「バス車内事故防止キャンペーン」を実施しております。

「無理な割り込み」や「急な飛び出し」などによる事故を回避するための急ブレーキが、車内の乗客の転倒など思わぬ負傷事故を誘発する要因ともなっております。

皆様の優しい運転でバスの車内事故防止にご協力をお願い致します。

中部運輸局 静岡運輸支局
静岡 県 バス 協会

自動車運送事業に係る交通事故対策検討会報告書(令和元年度)

[第1分冊]

事業用自動車の交通事故統計(平成30年版)

令和2年1月

国土交通省自動車局

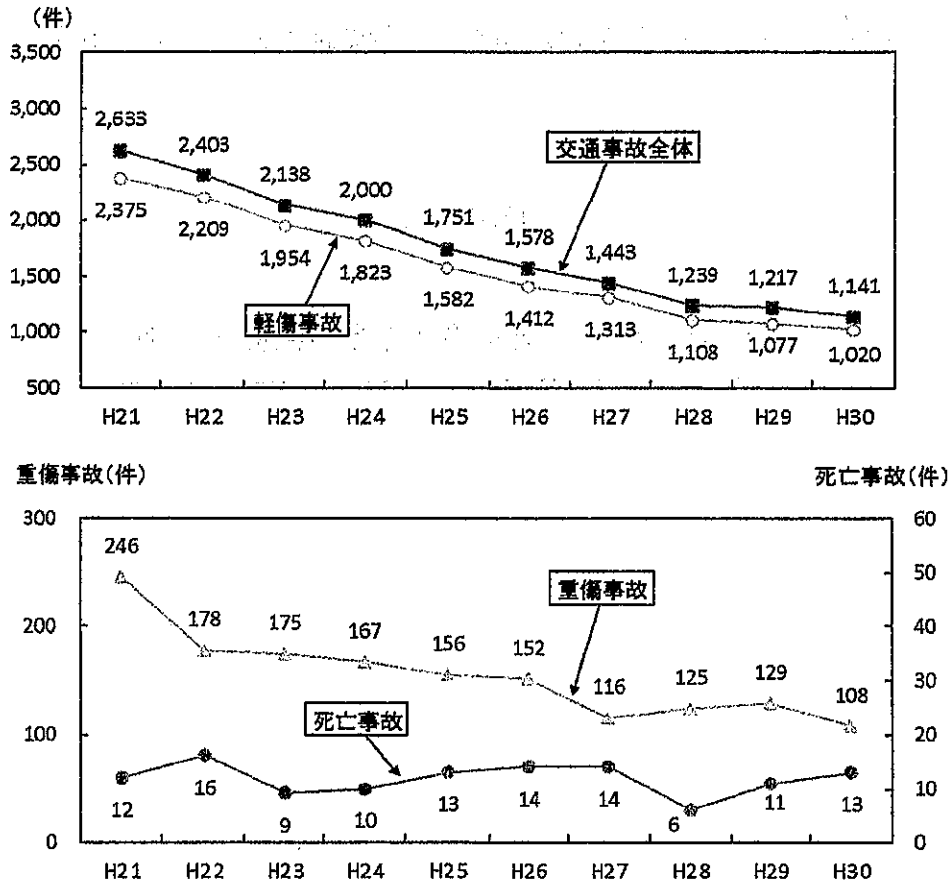
自動車運送事業に係る交通事故対策検討会

2-1. 乗合バスの事故

(1) 乗合バスの事故件数、死傷事故件数の推移

乗合バスによる事故件数は、全体では減少傾向にある。死亡事故件数は10年間で6件～16件で推移しており、減少傾向は見られない。

〔図 26〕 乗合バスの全事故及び死傷事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 27〕 乗合バスの事故件数の推移（件）

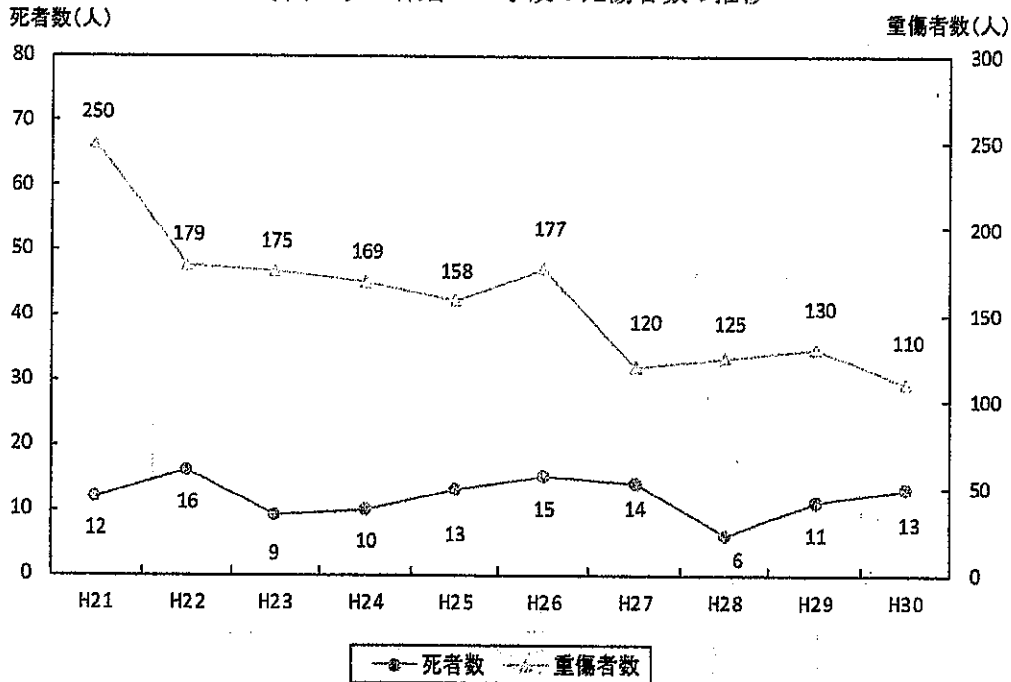
区分 年	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	交通事故全体
H21	12	246	2,375	2,633
H22	16	178	2,209	2,403
H23	9	175	1,954	2,138
H24	10	167	1,823	2,000
H25	13	156	1,582	1,751
H26	14	152	1,412	1,578
H27	14	116	1,313	1,443
H28	6	125	1,108	1,239
H29	11	129	1,077	1,217
H30	13	108	1,020	1,141

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 乗合バス事故の死傷者数の推移

乗合バスの事故のうち重傷者数は減少傾向にある。死者数は10年間で6人～16人で推移しており、減少傾向は見られない。

〔図 27〕 乗合バス事故の死傷者数の推移



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 28〕 乗合バス事故の死傷者数の推移 (人)

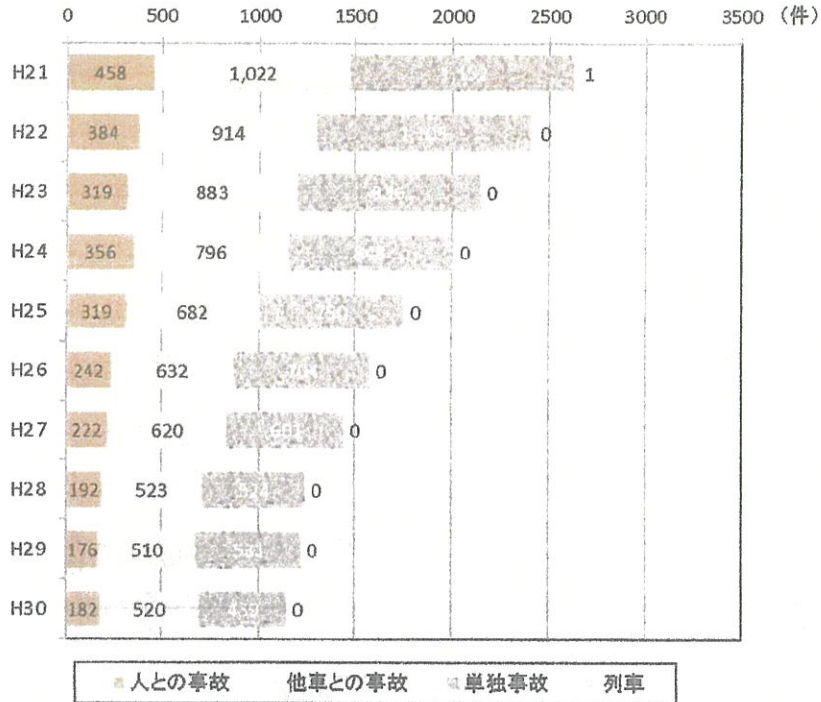
年	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者合計
H21	12	250	2,821	3,083
H22	16	179	2,653	2,848
H23	9	175	2,326	2,510
H24	10	169	2,139	2,318
H25	13	158	1,895	2,066
H26	15	177	1,741	1,933
H27	14	120	1,605	1,739
H28	6	125	1,351	1,482
H29	11	130	1,311	1,452
H30	13	110	1,306	1,429

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 乗合バスの事故類型別事故件数

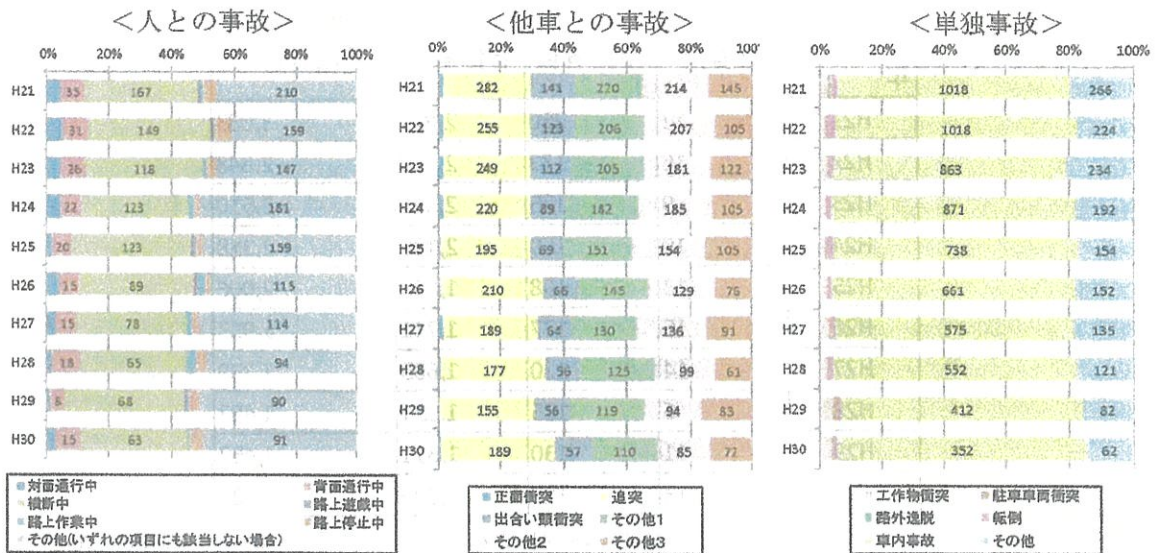
乗合バスの事故類型は他車との事故が最多となっている。単独事故の大半は車内事故が占めている。

〔図 28〕 乗合バスの事故類型別事故件数



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 29〕 乗合バスの事故類型別事故件数の内訳



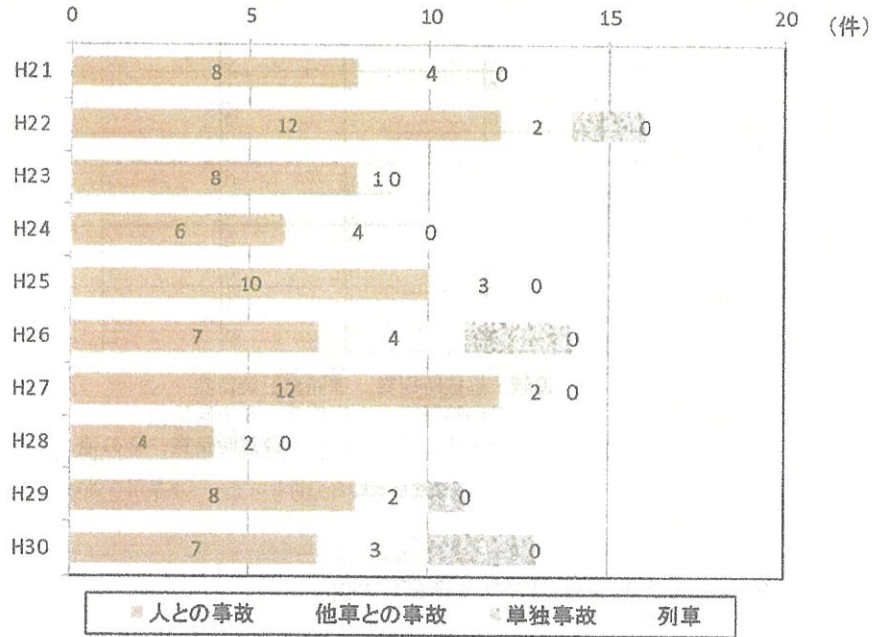
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故」

(4) 乗合バスの事故類型別死亡事故件数

事故類型別死亡事故件数は、人との事故が大半を占めている。

〔図 30〕 乗合バスの事故類型別死亡事故件数

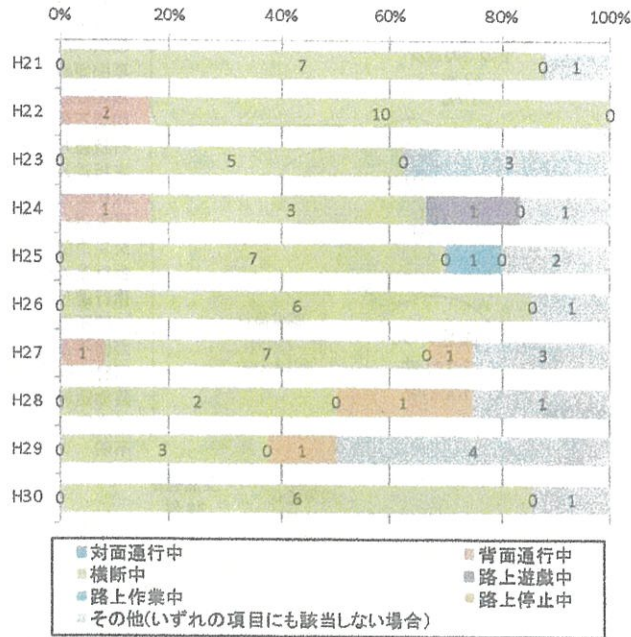


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(5) 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳 (人との事故)

人との死亡事故は、歩行者が横断中に発生する件数が多い。

〔図 31〕 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳 (人との事故)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(6) 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（他車との事故）

他車との事故における死亡事故は、10年間で2件～4件にとどまっている。

〔表 29〕 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（件）（他車との事故）

区分 年	正面衝突	追突	出会い頭衝突	その他1	その他2	その他3
H21	0	0	1	2	0	1
H22	0	0	0	1	1	0
H23	0	0	1	0	0	0
H24	1	0	2	0	1	0
H25	0	0	1	0	2	0
H26	0	1	1	0	2	0
H27	0	0	0	0	1	1
H28	0	1	0	0	1	0
H29	0	0	0	1	1	0
H30	0	0	2	0	1	0

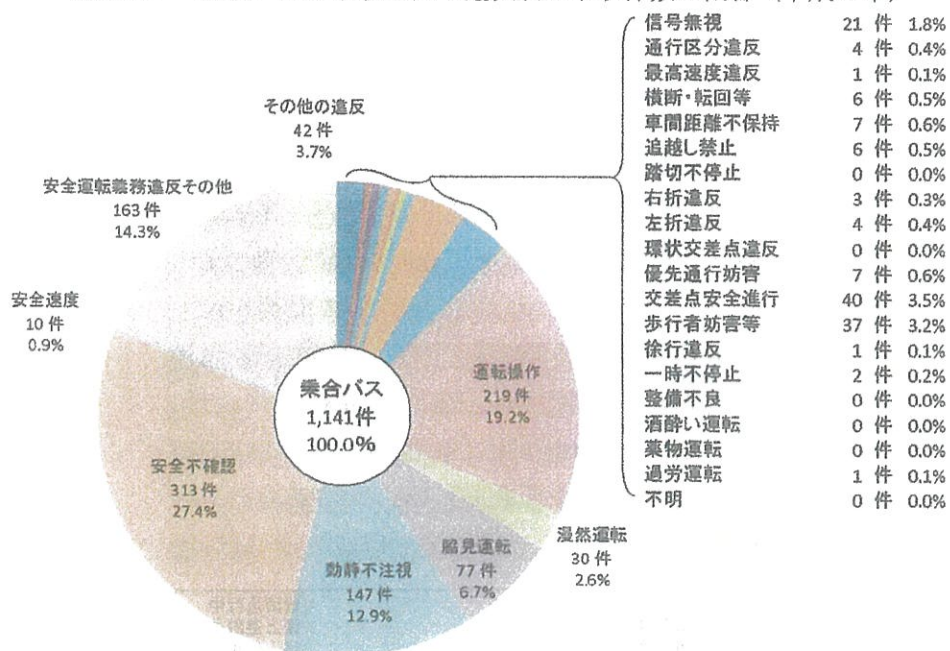
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故」

(7) 乗合バスの事故の法令違反別の事故件数の割合

乗合バスでは、「安全不確認」313件（27.4%）、「運転操作」219件（19.2%）、「動静不注視」147件（12.9%）といった法令違反の事故が多い。「運転操作」は車内事故発生の要因の一つと考えられる。

〔図 32〕 乗合バスの事故の法令違反別の事故件数の割合（平成30年）

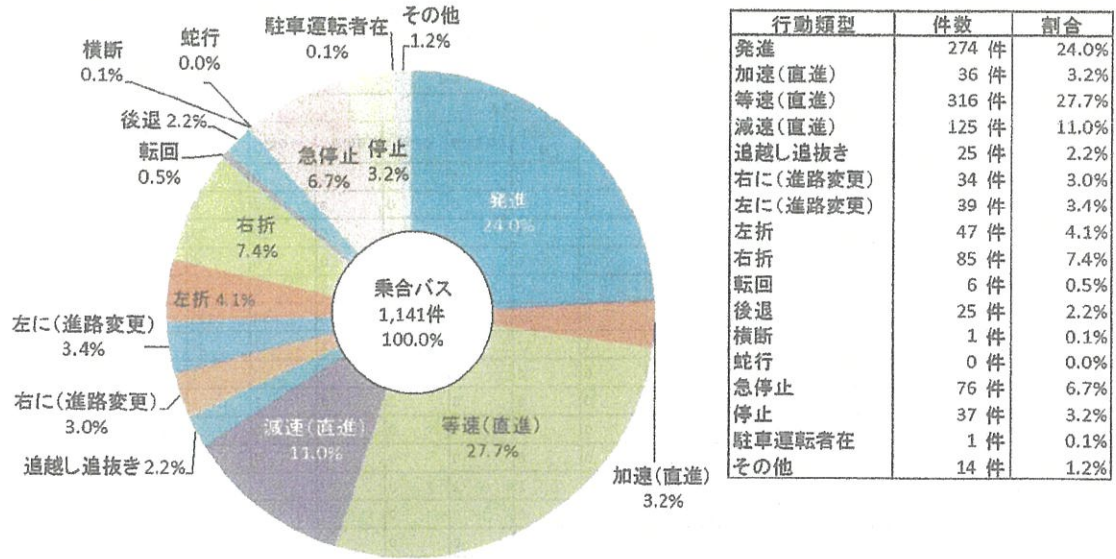


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(8) 乗合バスの行動類型別事故件数の割合

乗合バスの行動類型別事故の割合は、等速316件（27.7%）が最も多く、次いで発進時274件（24.0%）となっている。

[図 33] 乗合バスの行動類型別事故件数の割合（平成30年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(9) 乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数

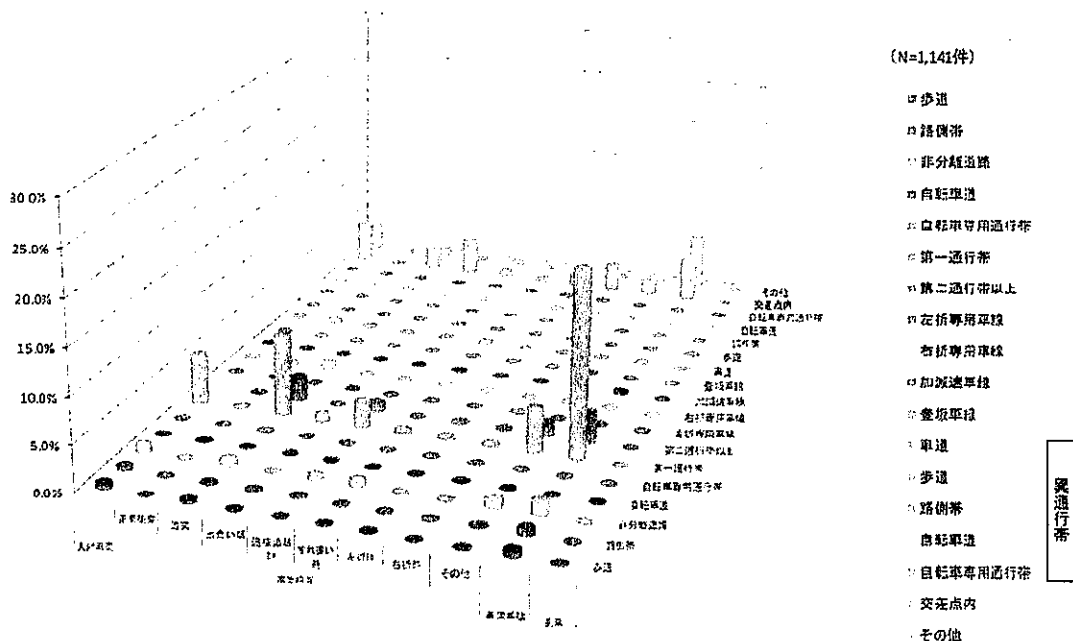
乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数と構成比をそれぞれ表30、図34に、死亡事故件数と構成比を表31、図35に示す。事故件数については、第一通行帯での単独事故232件(20.3%)が最も多く、死亡事故件数については、件数が少ないため、大きな特徴は見られない。

〔表 30〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数 (件) (平成30年)

	バス												合計
	乗合											計	
	人対車両	車両間									車両単独		
	正面衝突	追突	出会い直	追抜追越	すれ違い時	左折時	右折時	その他	車両単独	列車			
乗客 (交差点付近を中心)	歩道	7	0	3	0	0	1	1	0	0	8	0	20
	踏切帯	5	0	1	1	2	0	0	0	2	9	0	20
	非分離道路	10	0	8	0	5	8	1	0	10	17	0	59
	踏切帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	62	3	101	8	33	5	4	3	56	232	0	507
	第二通行帯以上	3	0	29	1	12	0	2	2	17	37	0	103
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	右折専用車線	1	0	8	0	0	0	0	0	2	3	0	14
	加速車線	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車道	3	4	2	0	2	2	0	0	1	2	0	16
	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
踏切帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
交差点内	53	0	27	46	8	3	14	36	20	55	0	262	
その他	37	0	10	1	3	1	1	1	9	70	0	133	
合計	182	7	189	57	65	20	23	42	117	439	0	1,141	

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 34〕 乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比 (%) (平成30年)



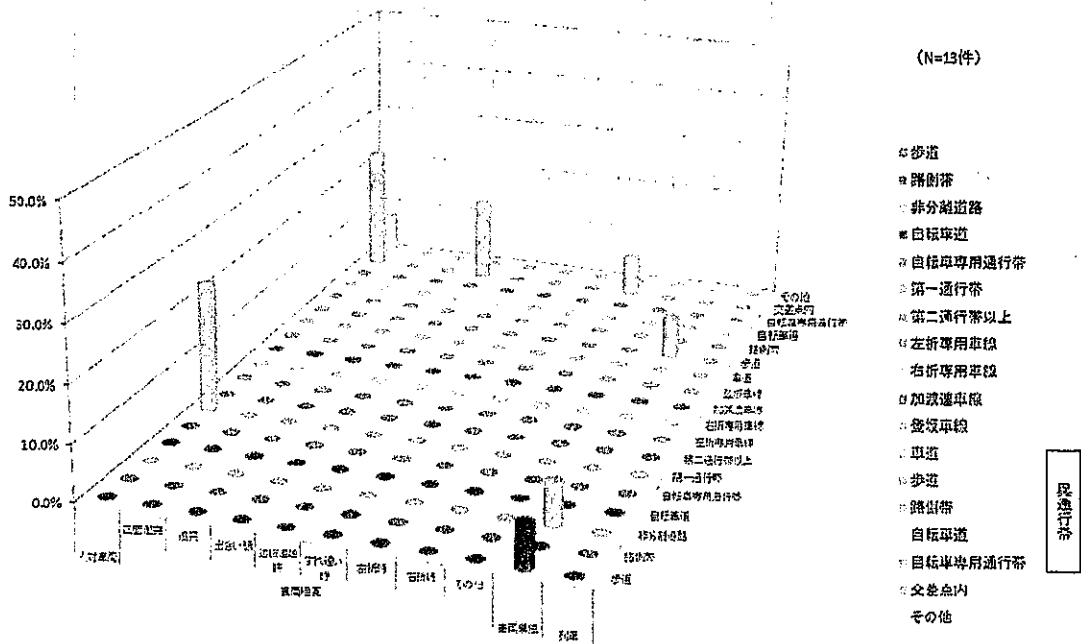
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

[表 31] 乗合バスの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数 (件) (平成30年)

	バス												
	乗合											合計	
	人対車両	車両対車両								車両単独	列車		
	正面衝突	衝突	出会い回	追突追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
乗客 (衝突直付近を含む)	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	踏切帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	自転車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自転車専用通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	第二通行帯以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異通行帯	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
踏切帯		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自転車道		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自転車専用通行帯		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
交差点内	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	6	
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	7	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	13	

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

[図 35] 乗合バスの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数の構成比 (%) (平成30年)



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(10) 乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数

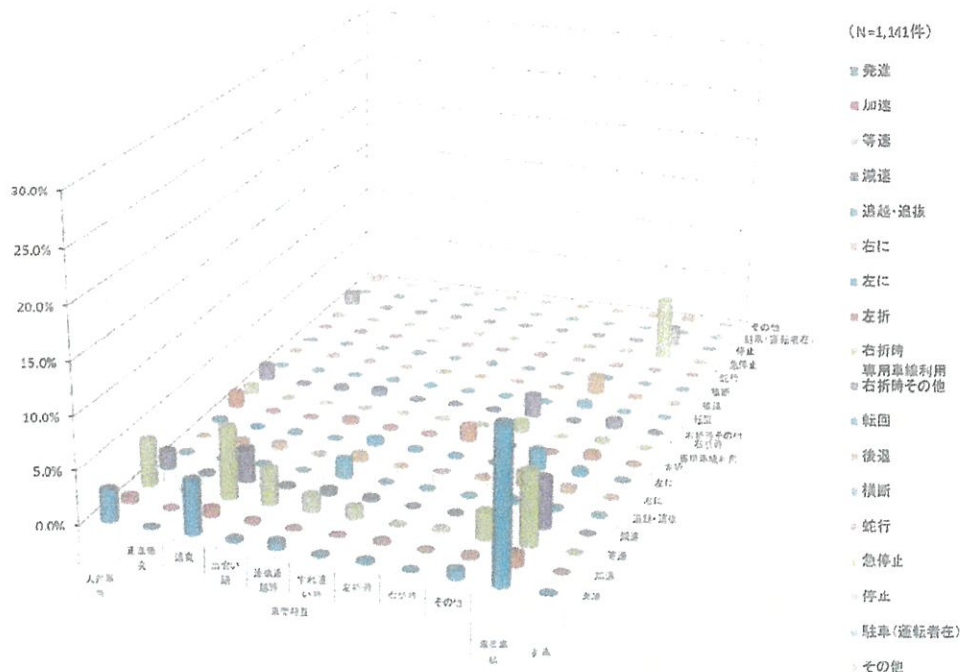
乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数と構成比をそれぞれ表32と図36に、死亡事故件数とその構成比をそれぞれ表33と図37に示す。事故件数については、発進時の単独事故163件（14.3%）が最も多く、死亡事故件数については、件数が少ないため、大きな特徴は見られない。

〔表 32〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数（件）（平成30年）

		バス												合計
		乗合												
		人対車両	車両相互								車両単独	列車		
正面衝突	追突		出会い頭	追越追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他						
発進		33	0	57	2	7	1	2	0	9	163	0	274	
直進	加速	7	0	8	2	1	0	2	0	3	13	0	36	
	等速	51	3	78	40	18	12	1	4	29	80	0	316	
	減速	20	1	36	2	4	3	0	0	6	53	0	125	
	追越・追抜	0	0	1	0	20	0	0	0	3	1	0	25	
進路変更	右に	0	2	5	0	7	0	0	1	15	4	0	34	
	左に	2	0	1	0	7	1	1	0	21	6	0	39	
右折時	左折	17	0	0	5	1	1	17	0	0	6	0	47	
	専用車線利用	9	0	0	0	0	1	0	11	0	4	0	25	
	その他	17	0	3	6	0	1	0	25	0	8	0	60	
	転回	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	
	後退	2	1	0	0	0	0	0	0	20	2	0	25	
	横断	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	蛇行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急停止	1	0	0	0	0	0	0	1	2	72	0	76	
	停止	15	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	37	
	駐車(運転着在)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他	7	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	14	
合計		182	7	189	57	65	20	23	42	117	439	0	1,141	

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 36〕 乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比（%）（平成30年）



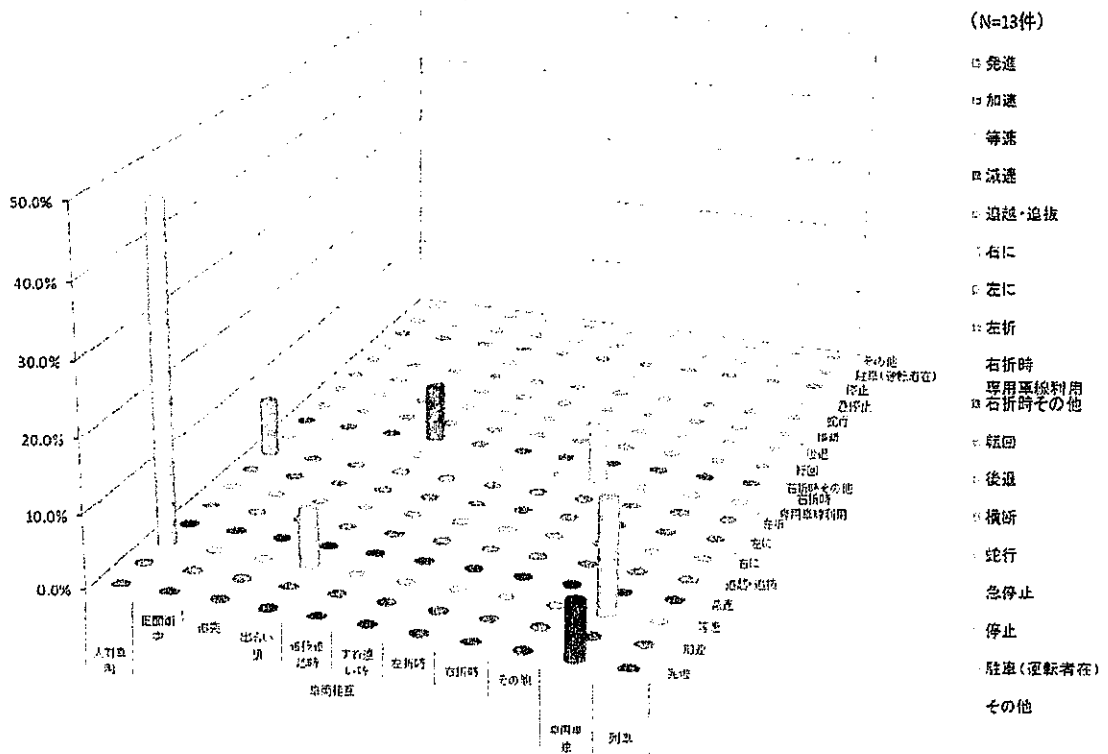
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

[表 33] 乗合バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数 (件) (平成30年)

		バス											
		乗合											
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
正面衝突	追突		出会い頭	追越遅延時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
直進	加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等速	6	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	9
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左折		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車(運転者不在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	13

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

[図 37] 乗合バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比 (%) (平成30年)



(11) 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

乗合バスの車内事故件数は、平成30年は大きく減少し352件となった。平成21年から約10年で4割程度まで下がったが、事故件数は依然深刻な事態であることを示している。

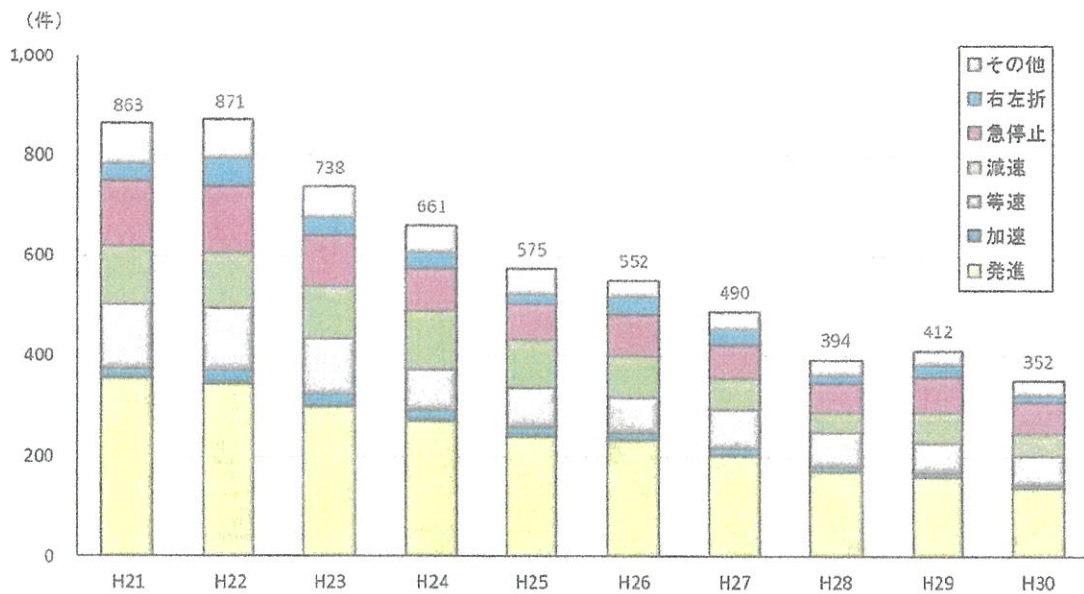
また、平成30年に発生した車内事故352件のうち、行動類型別にみると、発進時が最も多く138件(39.2%)となっており、次いで急停止時64件(18.2%)となっている。

〔表34〕 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移 (件)

区分 \ 年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
発進	352	343	298	268	239	233	201	172	162	138
直進	加速	22	27	25	25	18	14	15	11	10
	等速	127	123	110	81	80	72	80	68	57
	減速	115	111	105	116	93	82	59	38	42
急停止	131	134	101	84	73	83	69	59	71	64
右左折	37	55	35	32	20	34	30	16	22	13
その他	79	78	64	55	52	34	36	30	29	28
合計	863	871	738	661	575	552	490	394	412	352

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図38〕 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

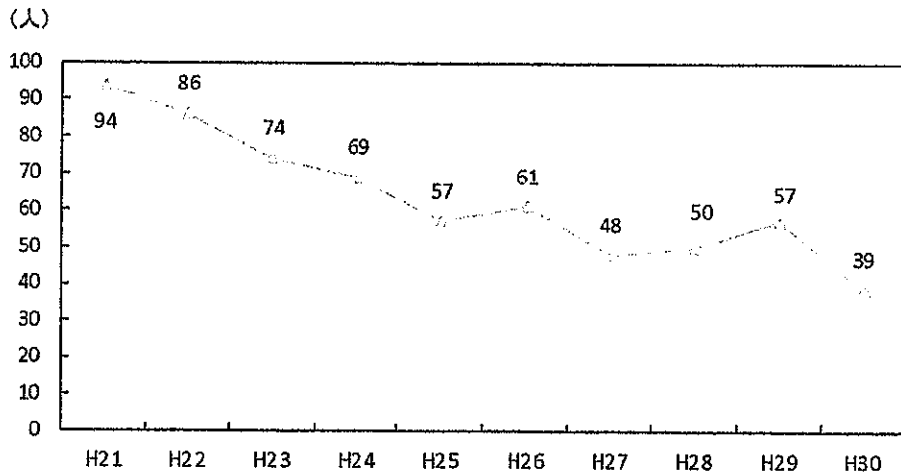


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(12) 乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

乗合バスの車内事故による重傷者数は、平成30年は前年と比べて18人減少している。

[図 39] 乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

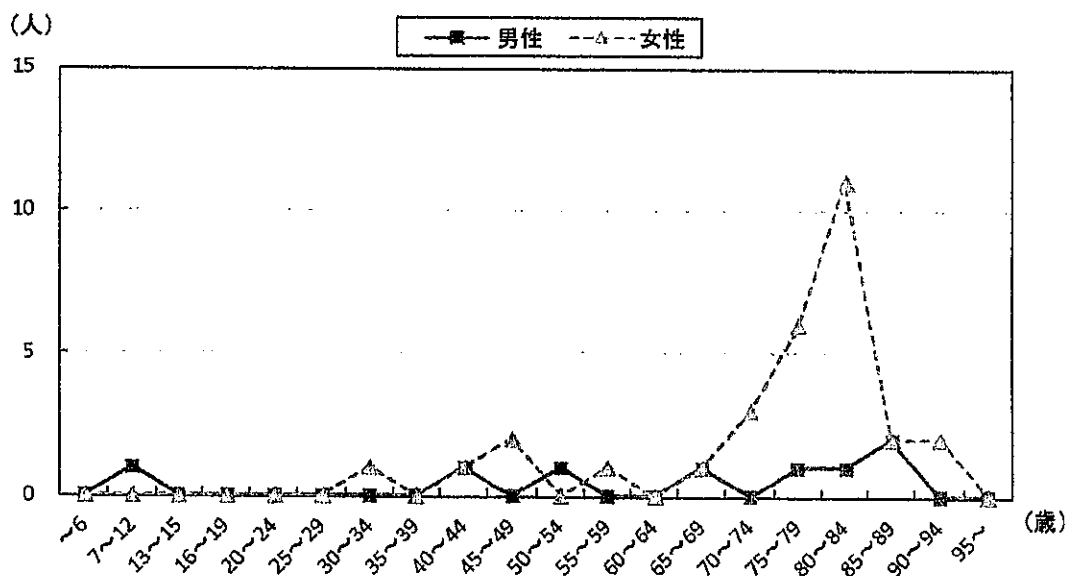


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(13) 乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布

乗合バスの車内事故による重傷者数を性・年齢別にみると、女性の70歳以上から多くなり、80歳～84歳が11人と最も多く前年と同様の傾向、また85歳以上が減少している。

[図 40] 乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布 (平成30年)

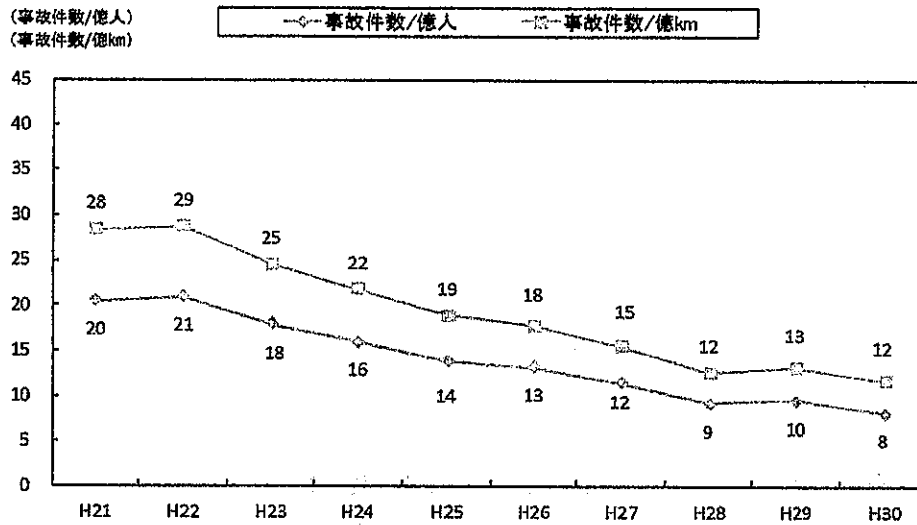


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(14) 乗合バスの輸送人員1億人あたり及び走行距離1億キロあたり車内事故件数

輸送人員1億人あたり及び走行距離1億キロあたり乗合バスの車内事故件数をみると、減少傾向である。輸送人員と走行距離にはほぼ変化がないことから、車内事故件数自体が減っていることを示している。

[図41] 乗合バスの輸送人員1億人あたり及び走行距離1億キロあたり車内事故件数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

[表35] 乗合バスの車内事故件数、輸送人員及び走行距離の推移

	事故件数(件)	輸送人員(億人)	走行距離(億km)
H21	863	42	30
H22	871	42	30
H23	738	41	30
H24	661	41	30
H25	575	42	31
H26	552	42	31
H27	490	43	32
H28	394	43	32
H29	412	43	31
H30	352	44	30

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

(15) 乗合バスの車内事故件数の事故種類別時間帯分布

乗合バスの車内事故件数を時間帯別にみると、8時～18時台の日中の時間帯に多く発生している。

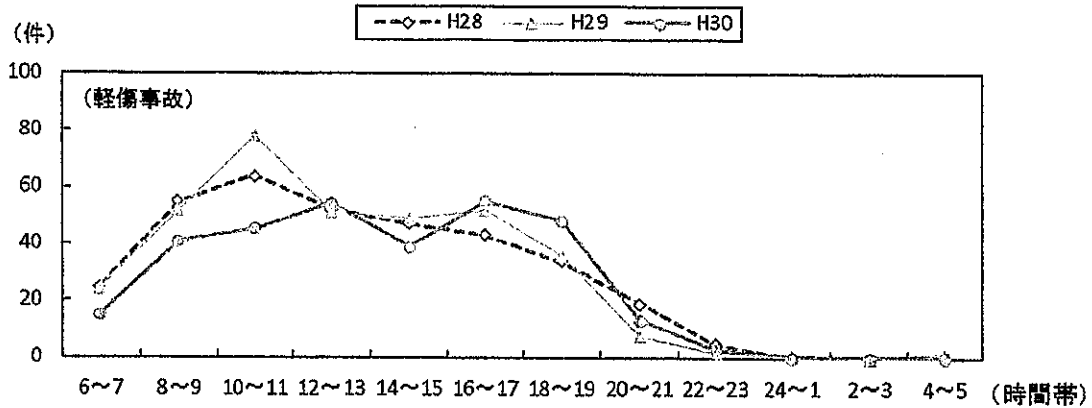
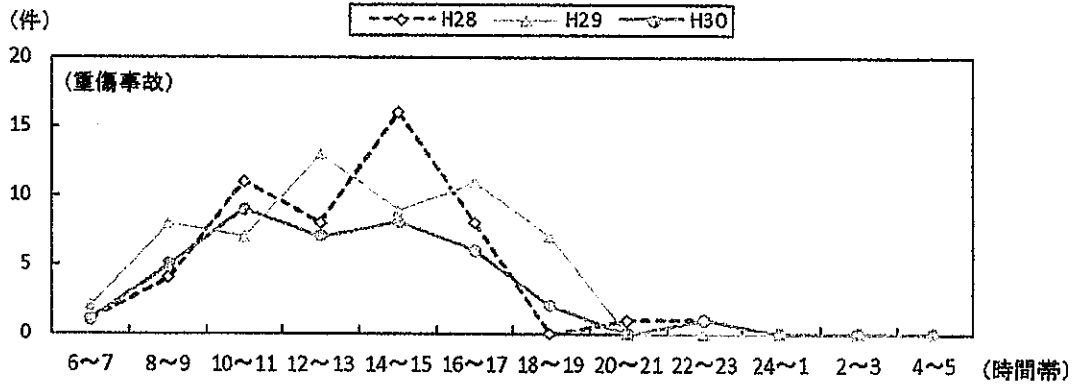
〔表 36〕 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布（平成30年）

時間帯	重傷事故	軽傷事故	負傷事故計
6～7	1	15	16
8～9	5	41	46
10～11	9	45	54
12～13	7	54	61
14～15	8	39	47
16～17	6	55	61
18～19	2	48	50
20～21	0	13	13
22～23	1	3	4
24～1	0	0	0
2～3	0	0	0
4～5	0	0	0
合計	39	313	352

※運転者が負傷した事故を含む。

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 42〕 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(16) 乗合バスの車内事故による事故種別別負傷者数の年齢分布

乗合バスの車内事故による負傷者数を年齢層別にみると、80歳～84歳が58人（15.2%）と最も多く、65歳以上が178人（46.6%）と高齢者が半数弱を占めている。

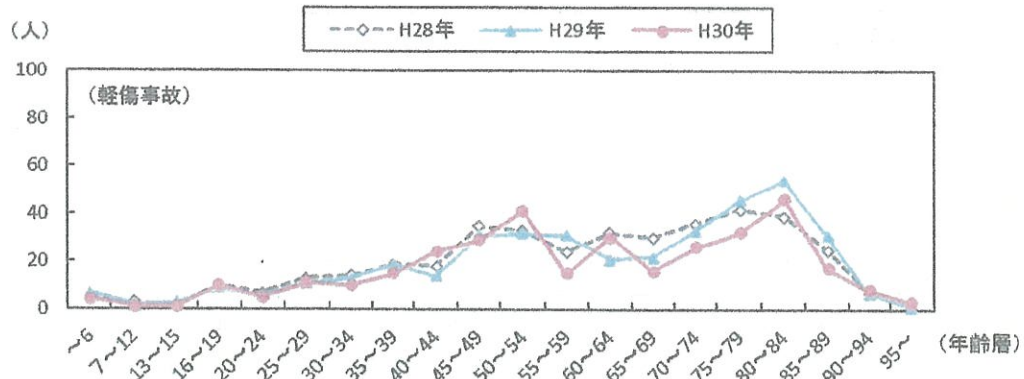
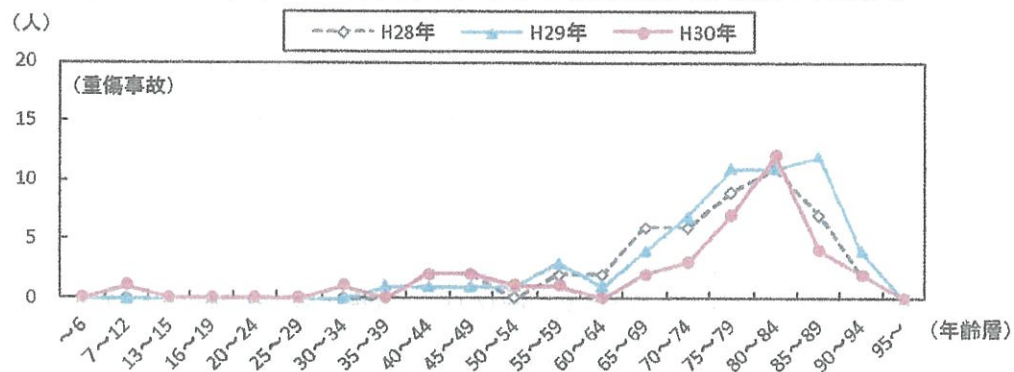
さらに重傷者数は65歳以上が38人中30人（78.9%）で、高齢者の比率の高さが顕著となっている。

〔表 37〕 乗合バスの車内事故による事故種別別負傷者数の年齢分布（人）（平成30年）

年齢層	重傷者数	軽傷者数	負傷者計
～ 6	0	4	4
7～12	1	1	2
13～15	0	1	1
16～19	0	10	10
20～24	0	5	5
25～29	0	11	11
30～34	1	10	11
35～39	0	15	15
40～44	2	24	26
45～49	2	29	31
50～54	1	41	42
55～59	1	15	16
60～64	0	30	30
65～69	2	16	18
70～74	3	26	29
75～79	7	32	39
80～84	12	46	58
85～89	4	17	21
90～94	2	8	10
95～	0	3	3
合計	38	344	382

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔図 43〕 乗合バスの車内事故による事故種別別負傷者数の年齢分布



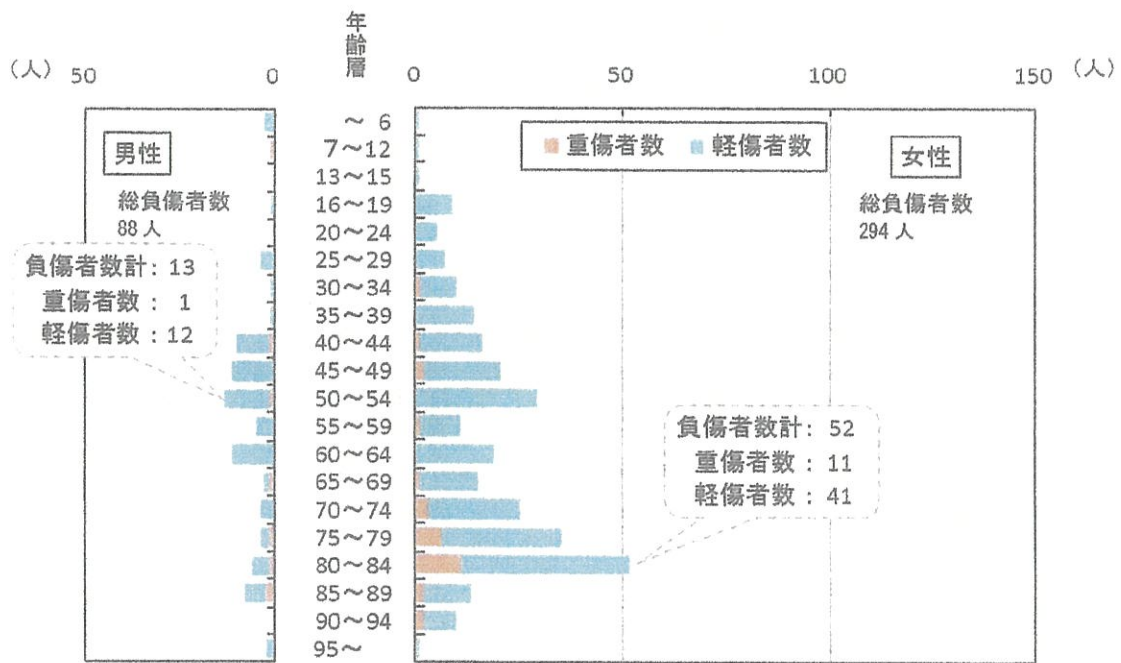
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

乗合バスの車内事故による負傷者数を男女年齢層別にみると、男性は50歳～54歳が13人（14.8%）と最も多く（うち重傷者数は1人）、65歳以上が27人（30.7%）と高齢者が多い傾向にある。

女性では80歳～84歳が52人（17.7%）と最も多く（うち重傷者数は11人）、65歳以上が151人（51.4%）と高齢者が過半数を占めている。

また、性別では男性より女性の負傷者数が大幅に多く、女性の負傷者数（294人）が男性の負傷者数（88人）の3倍程度となっている。

〔図44〕 乗合バスの車内事故による男女別年齢層別負傷者数（平成30年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
